

笑顔と

神奈川県立金沢支援学校

やさしい心



学校だより



学校ホームページ

第225号 令和8年7月号



きらきらと輝いた1学期
～温かいご支援に感謝を込めて～



日ごとに暑さが本格的になってまいりましたが、子どもたちは夏の光を浴びながら毎日元気に過ごしています。

◆ 授業参観への御礼

先月から今月頭にかけての授業参観には、多くの皆様にご来校いただき誠にありがとうございました。お家の方に見守られ、少し緊張しつつも日頃の成果を一生懸命に発揮する子どもたちの姿に、確かな成長を感じていただけたのではないのでしょうか。温かい拍手や眼差しは、教職員一同にとっても大きな励みとなりました。

◆ プール活動と、1学期後半のあゆみ

学校では毎日、子どもたちが大好きな水泳指導が行われています。水の手触りや涼しさを全身で感じ、歓声を上げて楽しそうに泳ぐ姿は夏の学校の風物詩です。

1学期の後半は、子どもたちの生き生きとした笑顔と成長がたくさん見られた期間でもありました。進路に係る実習では将来を見据えて真剣に課題と向き合い、各学部での作物の収穫にみんなで大喜びしたり、季節の行事や校外学習で豊かな経験を積み重ねたりしました。

活動の中では、慣れないことに戸惑ったり悔しがったりする姿もありましたが、それを乗り越えて『できた！』と顔を上げた時の誇らしげな笑顔は、ベストショットの輝きでした。

◆ 地域の方々とともにある学校

今期も地域の方々にご協力いただく授業がたくさんありました。交流を通して子どもたちの表情はさらに輝き、学校内はいつも以上に賑やかで温かい活気に包まれました。子どもたちを我が子のように見守ってくださる地域の皆様とのつながりは、本校のかけがえのない財産です。皆様、ありがとうございます。

◆ 安全第一で、心豊かな夏休みを

いよいよ長い夏休みが始まります。ご家庭におかれましても体調管理や安全に十分に留意され、穏やかで有意義な時間をお過ごしください。

9月の始業式に、子どもたちの笑顔と元気な声に出会えることを楽しみにしております。

(教頭 後藤 素代)





B部門小・中学部紹介



今年度の小学部は、4月に16名の新入生を迎え、総勢92名の児童が通っています。どの学年も、靴箱や教室の場所が変わり、変化に戸惑っている児童もありましたが、すぐに慣れて笑顔で登校しています。

朝の会では、日課の確認をして一日の見通しを持てるようにしています。電子黒板を使って、日直が朝の会の進行をしたり、係が画面に日にちや予定を書いたり ICT を使った授業が見られるようになってきました。また、図工の授業では、青い海の中の映像を見てから、海をイメージして模造紙いっぱいローラーで絵具を付けていく授業がありました。好きな色を選んでローラーを動かしたり、手を伸ばして長い線を描いたりしていました。

電子黒板を使い、自分で操作して形にしていくことができたり、より鮮明で分かりやすい動画を見ることができたりすることで、子どもの自発的な活動が増えたり、イメージを明確にして活動に取り組んでいるように思います。子どもたちが興味を持って、「やりたい！」という気持ちが多く見られる授業を目指して、工夫して取り組んでいきたいと思っています。

(小B学部長 藤井 桜子)



今年度の中学部は、1年生21名、2年生16名、3年生19名の全56名になります。活動は学年単位で動くことが多いのですが、学部作業や体づくり等は学年を超えて活動する場面が多くあります。

今年度の中学部の学部作業はクラフト班、木工班、環境美化班の3班体制で行っています。特に4月から新しく入ってきた1年生にとって、『学部作業』はまさに今まで経験したことがない授業。4月当初は、「作業って何をやるの?」「作業の時間に大切なことって何?」ということを中心に、まず学年で事前学習をし、各作業班を見学してから、2・3年が活動している授業に実際に入ります。初めての活動、いつもと違うメンバーでの授業は、最初こそ緊張の面持ちでしたが、回数を重ねるにしたがって作業内容を少しずつ覚え、作業後に作業日誌で振り返りをする姿も板についてきました。中学部卒業後の高等部での作業学習や実習、そして社会に出ていく道のりの最初の一步として、授業での経験が少しずつ積み重ねられていくとよいなと感じています。

2学期からは『学部体育』もはじまります。今年度はこの授業の取り組みを学習発表会で発表できるように、学部みんなで一つのものを作り上げていく予定です。どうぞ当日をお楽しみに!!

(中B学部長 飯田 洋子)

